

すべての市民の学びに向けた生涯学習施策について（答申書骨子案・構成案 概要）

資料 9

骨子・構成案			担当者
大	中	小	
はじめに			小形副委員長
審議の経過について			
1 障害者・貧困問題への教育的アプローチ			
2 仙台市における現状 一障害者・貧困一	2（1）仙台市における障害者をめぐる現状		
	2（2）仙台市における貧困をめぐる現状		
	2（3）子どもの貧困をめぐる現状		
	2（4）まとめ		
3 障害のある人たちの学習の促進	3（1）社会教育機会へのアクセス	①柔軟で、多様な学習機会の提供	
		②障害者の社会教育活動を推進する指導員等の育成	
	③アクセスしやすい学習機会の創出		
3（2）行政、学校、企業、市民活動組織、諸個人との連携と協働	①福祉行政の提供する学習機会との区別と連携・協働		
	②障害者支援団体、企業、個人との区別と連携・協働		
	③支援学校・福祉施設との連携と協力		
3（3）障害者への理解を促進する	①支援情報の広報活動強化		
②市民が障害をめぐる現状や課題を理解する学習機会の提供			
	（③その他：行政の予算獲得について）	構成として入れるか検討	
4 貧困のなかにある人たちの学習の促進	4（1）社会教育機会へのアクセス	①魅力的で多様な学習機会の提供	
		②社会教育活動を推進する指導員等の育成	
		③アクセスしやすい学習機会の創出	
4（2）行政、学校、企業、市民活動組織、諸個人との連携と協働	①福祉行政の提供する学習機会との区別と連携・協働		
	②支援団体、企業、個人との区別と連携・協働		
	③学校・福祉施設との連携と協力		
4（3）貧困問題の理解を促進する	①支援情報の広報活動強化		
	②市民が貧困をめぐる現状や課題を理解する学習機会の提供		
	③貧困のなかにある人びとの学習への参加を支えるボランティア活動の促進		
		（④その他：仙台市が考える新しい生涯学習像等の生涯学習に対する根底的スキームづくり）	構成として入れるか検討
おわりに（まとめ）			高橋委員長